

【開催報告】第1回仕事と介護の両立セミナーを開催しました



9月11日(金)、講師に丹野智文氏(おれんじドア 代表)をお迎えし、仕事と介護の両立セミナーを開催しました。

若年性アルツハイマー型認知症の当事者であります丹野氏は、当日宮城県から来崎されました。『若年性認知症とともに生きる』と題した講演では、ネットコタ仙台で営業職をしていた39歳の時に若年性アルツハイマー型認知症と診断され、46歳の現在、妻と娘2人の4人で生活していること、また、職場の上司や社長にも、妻とともに病気のことを打ち明け、「病気であっても長く働ける環境をつくってあげるから」との温かい言葉のもと、現在も仕事を続けられていると話されました。丹野さんの前向きなお考えと生き方、明るい笑顔と元気に、こちらにも元気をいただき、とても学びの多い時間となりました。

「今まで、家族の困り事ばかりに目を向けていました。本人との対話をもっと大切にしようと思いました」「人生百年時代。人と積極的に関わり、笑顔を忘れずに前向きに今日という一日を大事に生きていきたいと思っています」「このような良い機会をありがとうございました」等の感想が寄せられました。(参加者 会場:32名 オンライン:26名)

オンライン
の画像

ダイバーシティ学習プログラム作成のための基礎調査報告
(第2弾)

【結果①(性別役割意識に関して)】

男性の方が女性・その他よりも従来の性別役割意識をもつ傾向が強い。
また学生ではその傾向が強い。

* 性別役割意識とは

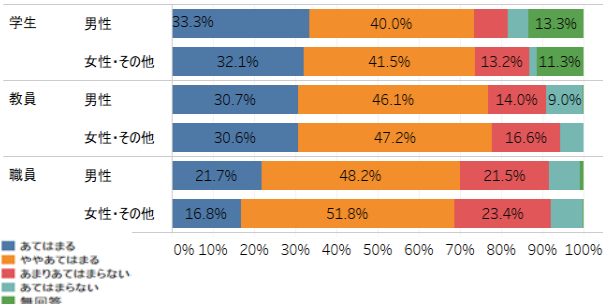
「男性は仕事・女性は家庭」のように性別で役割を決めることをいいます。
この意識が強いと、現代においては一人ひとりの個性と能力の発揮を妨げる場合があります。

【今後の課題】 多様な考え方に対して受け入れられるように、誰もが自らの意識や日頃の言動を振り返り、知識を身につけることが必要です。当センターでは今後、男性、女性・その他それぞれが置かれる立場によって陥りやすい思考や、性別役割意識、そしてそれらを包括する概念でもある「無意識のバイアス」について学んでもらう機会をつくり、皆さんに多様で柔軟な考え方を取り入れてもらうことを目指します。

【結果②(個性や違いの尊重に関して)】

「私の職場(周り)では、一人ひとりの違いを尊重していると思う」という質問に対しては学生、教員、職員いずれにおいても「あてはまる」「ややあてはまる」と回答の割合に性別における差はみられず、約7割に上ります。

私の職場では(周りでは)一人ひとりの違いを尊重していると思う



文教おもやい保育園 入園説明会(令和3年1月開催予定)

令和3年4月1日入園希望者のための、入園説明会を行います。日程は後日ホームページ等でお知らせします。
本保育園は、本学教職員のお子様をお預かりする保育園です。**非常勤・有期雇用**の方のお子様も入園できます。

☆ 募集期間(4月入園者) ☆

1次募集：令和3年2月1日(月)～10日(水)

2次募集：1次募集で空きがある場合のみ随時

☆ 保育園定員 ☆

0歳児 — 7名

1歳児 — 8名

2歳児 — 8名

3～5歳児 — 14名



10月の様子



芋ほり



お誕生日会

日頃よりダイバーシティ推進センターの運営に、ご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。
センター職員一同、今後も力を尽くして参りますので、引き続きよろしくお願いいたします。

「長崎大学ダイバーシティ推進に関する満足度調査」
ご協力のお礼

全教職員を対象に令和2年9月4日～17日に実施した調査へのご協力ありがとうございました。
有効回答数1149件、回収率24.6%
現在集計、分析を行っており、今年度末には結果報告をいたします。



【編集・発行】国立大学法人 長崎大学 ダイバーシティ推進センター
(愛称:おもやいセンター)

〒852-8521 長崎市文教町1-14

TEL: 095-819-2889 FAX: 095-819-2159

E-mail: omoyai@ml.nagasaki-u.ac.jp HP: <https://www.cdi.nagasaki-u.ac.jp>